

学校だより



はと広場

教育目標 進んで学び 高め合う 北小の子
あかるく なかよく すこやかに

12月号 令和7年11月28日 NO.8

さいたま市立北浦和小学校

〒330-0074

さいたま市浦和区北浦和2丁目18-3

電話 048-831-2463 FAX 048-835-1352

【児童数】820名 【学級数】29学級

努力は賜物～可能性は無限大～

校長 引間 陽子

11月は行事が目白押し。まずは4年社会科見学。中島紺屋の藍染め体験、川越の蔵造り見学で歴史を感じる1日となりました。2年遠足は、茨城県自然博物館の迫力満点の展示見学に、子どもたちはワクワク興奮しました。3年社会科見学は、歴史と民族の博物館と岩槻人形博物館で、昔を知る体験活動ができました。とりは、22日の午前の土曜公開授業と午後の北浦和フェスティバルです。保護者の皆様にも沢山来ていただき、大盛況で終了することができました。ふれあい花植え、避難所開設訓練など、学校と地域が一緒に活動する行事も加わり、つながりを通して子どもも大人も笑顔が溢れる月間となりました。皆様に感謝いたします。ありがとうございました。



北浦和フェスティバル 2025

相撲の九州場所で幕内初優勝を果たし、ウクライナ出身で初の大関昇進力士になった安青錦（あおにしき）の記事が目に留まりました。「相撲は一瞬で終わっちゃう。そこが魅力」と本人。師匠の安治川親方も「まだ何も完成していない」と言う。“可能性は無限大”ということを暗示するかのようなコメント。本人も「ずっと喜んでいたらそれで終わってしまう。もう一つ上がる所以、そこを目指して強くなりたい」と言い、大願を叶えても浮かれることなく、稽古に励む日々は続くとありました。以前、読んだ本『君の可能性』斎藤喜博著（筑摩書房）に、「人間はだれでも無限の可能性をもつ」とありました。「今まで飛び箱が跳べなかつた人が努力した結果、飛び箱が跳べるようになったということでもよい。算数のできなかつた人が、努力した結果、算数をやることが面白くなつたということでもよい。そういう経験を一つ一つ積み重ねていくことによって、努力するということはできるようになっていく。努力すれば、今までより、良い世界、高い世界へ少しでも行くことができ、より楽しくなるという経験があるから、努力できるのである。どんな仕事でも勉強でも、途中に必ず嫌になるほど苦しいときがあるのである。困難を突破すれば、その先により高い開けた明るい世界があることを知った人間になっていく。そういう世界に入ることを喜びとしてどんな困難にもたじろかないで、困難にまつとうにぶつかり、それを突破していくこうとする人間になっていく。学校での学習はこういうことを、みんなと力を合わせて次々とやっていくのである」という言葉が心に残っています。1年を振り返り、子どもたちの努力に気付きたい、可能性を伸ばしたい、心豊かに開花してほしいと願っています。良いお年をお迎えください。



4年社会科見学(川越蔵造り等)



3年社会科見学(2つの博物館)



2年遠足(茨城県自然博物館)